

# 2023年10月～12月期中小企業景況調査結果

## 中小企業の景況感、小幅改善

-来期も引き続き改善する見通し-

### ◇調査結果の概要

今期は、業況判断、売上及び採算の各 D.I. で前期実績を上回った（全産業平均）。  
来期は、業況判断及び採算の各 D.I. で前期実績を上回り、売上 D.I. で前期実績を下回る見通し（全産業平均）。

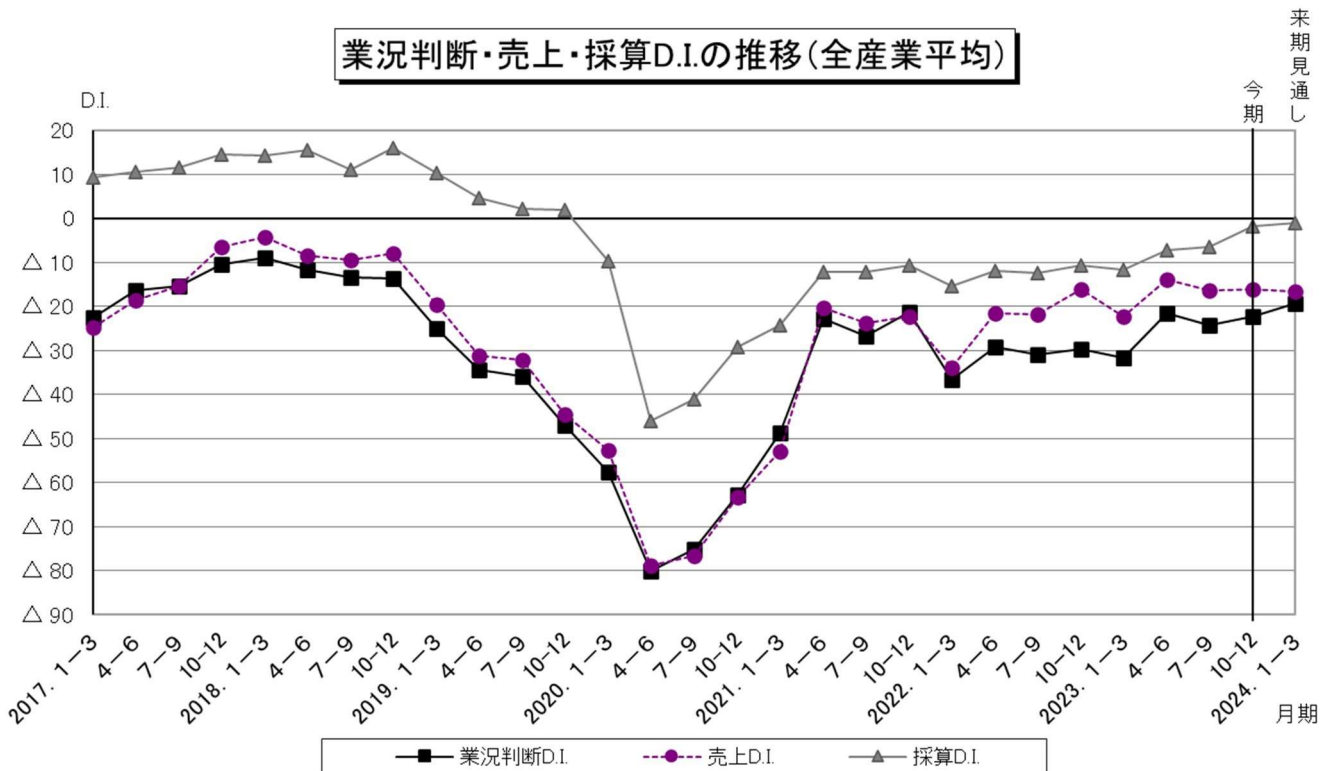
#### 指標別の状況（全産業平均）

- 業況判断 D.I.は、前期実績△24.2 から△22.4(1.8 ポイント増)となり、来期は△19.4(3.0 ポイント増)となる見通し。
- 売上 D.I.は、前期実績△16.5 から△16.1(0.4 ポイント増)となり、来期は△16.7(0.6 ポイント減)となる見通し。
- 採算 D.I.は、前期実績△6.5 から△1.7(4.8 ポイント増)となり、来期は△1.1(0.6 ポイント増)となる見通し。

#### 産業別の状況

- 製造業では、業況判断、売上及び採算の各 D.I.で前期実績を上回った。
- 卸・小売業では、業況判断、売上及び採算の各 D.I.で前期実績を上回った。
- 建設業では、業況判断、売上及び採算の各 D.I.で前期実績を下回った。
- サービス業では、業況判断及び採算の各 D.I.で前期実績を上回り、売上 D.I で前期実績を下回った。

#### 業況判断・売上・採算D.I.の推移(全産業平均)



調査時期:2023年12月1日から12月10日まで  
調査対象:中小企業 2,000社 (回答社数 1,168社 回答率 58.4%)

業況判断D. I. の推移

業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)	2024年1-3月期 (来期)
全産業	△ 29.7 (△ 25.2)	△ 31.6 (△ 24.7)	△ 21.5 (△ 23.0)	△ 24.2 (△ 18.0)	↗ △ 22.4 (△ 16.4)	↗ △ 19.4
製造業	△ 26.5 (△ 20.1)	△ 32.0 (△ 19.3)	△ 19.4 (△ 20.5)	△ 21.6 (△ 15.0)	↗ △ 20.5 (△ 13.2)	↗ △ 13.6
卸・小売業	△ 46.9 (△ 41.2)	△ 40.7 (△ 41.9)	△ 28.8 (△ 33.6)	△ 37.5 (△ 25.8)	↗ △ 32.8 (△ 30.0)	↗ △ 32.4
建設業	△ 20.0 (△ 21.5)	△ 19.4 (△ 21.4)	△ 22.7 (△ 19.4)	△ 18.8 (△ 27.7)	↘ △ 23.9 (△ 12.5)	↘ △ 25.4
サービス業	△ 19.0 (△ 25.5)	△ 15.6 (△ 23.8)	△ 18.2 (△ 17.2)	△ 12.1 (△ 15.0)	↗ △ 9.6 (△ 7.5)	↘ △ 21.1

( ) 内は1期前における当期見通し

売上D. I. の推移

業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)	2024年1-3月期 (来期)
全産業	△ 16.1 (△ 18.8)	△ 22.3 (△ 19.2)	△ 13.8 (△ 16.8)	△ 16.5 (△ 13.5)	↗ △ 16.1 (△ 11.6)	↘ △ 16.7
製造業	△ 12.2 (△ 13.1)	△ 21.0 (△ 13.6)	△ 9.7 (△ 11.6)	△ 13.3 (△ 10.5)	↗ △ 12.8 (△ 9.2)	↗ △ 11.3
卸・小売業	△ 32.7 (△ 33.9)	△ 31.4 (△ 33.8)	△ 20.4 (△ 28.5)	△ 28.9 (△ 21.5)	↗ △ 25.9 (△ 21.0)	→ △ 25.9
建設業	△ 12.9 (△ 21.5)	△ 11.9 (△ 18.6)	△ 13.6 (△ 17.9)	△ 14.1 (△ 10.8)	↘ △ 15.5 (△ 6.3)	↘ △ 21.1
サービス業	△ 7.9 (△ 21.8)	△ 16.4 (△ 22.8)	△ 25.6 (△ 23.0)	△ 10.2 (△ 15.8)	↘ △ 14.8 (△ 8.4)	↘ △ 26.3

( ) 内は1期前における当期見通し

採算D. I. の推移

業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)	2024年1-3月期 (来期)
全産業	△ 10.6 (△ 7.9)	△ 11.6 (△ 7.9)	△ 7.2 (△ 7.3)	△ 6.5 (△ 3.7)	↗ △ 1.7 (△ 0.5)	↗ △ 1.1
製造業	△ 11.5 (△ 7.6)	△ 12.4 (△ 8.0)	△ 8.5 (△ 6.8)	△ 6.7 (△ 5.0)	↗ △ 0.7 (0.3)	↗ 0.6
卸・小売業	△ 24.6 (△ 20.6)	△ 24.0 (△ 23.1)	△ 16.5 (△ 18.9)	△ 17.4 (△ 10.4)	↗ △ 12.7 (△ 12.6)	↗ △ 10.9
建設業	14.3 (10.8)	20.9 (14.3)	18.2 (15.2)	12.7 (10.8)	↘ 1.4 (19.0)	↗ 4.2
サービス業	10.2 (9.1)	3.3 (11.9)	7.4 (2.5)	9.3 (11.7)	↗ 15.7 (11.2)	↘ 7.9

( ) 内は1期前における当期見通し

設備投資実施率の推移

業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)	2024年1-3月期 (来期)
全産業	30.1% (28.0%)	28.3% (28.7%)	28.6% (26.8%)	29.6% (28.0%)	↘ 28.9% (27.4%)	↗ 29.6%
製造業	33.9% (32.3%)	32.3% (33.7%)	30.9% (32.1%)	34.1% (31.2%)	↘ 33.0% (30.9%)	↗ 35.9%
卸・小売業	19.5% (18.0%)	19.3% (18.1%)	20.1% (14.8%)	19.8% (21.2%)	↘ 19.7% (20.2%)	↘ 18.1%
建設業	28.6% (21.9%)	25.4% (24.3%)	34.8% (19.4%)	29.7% (26.2%)	↘ 29.6% (25.0%)	↘ 18.3%
サービス業	29.1% (24.3%)	24.6% (22.8%)	29.2% (23.8%)	23.4% (24.0%)	↗ 24.1% (23.4%)	→ 24.1%

( ) 内は1期前における当期見通し

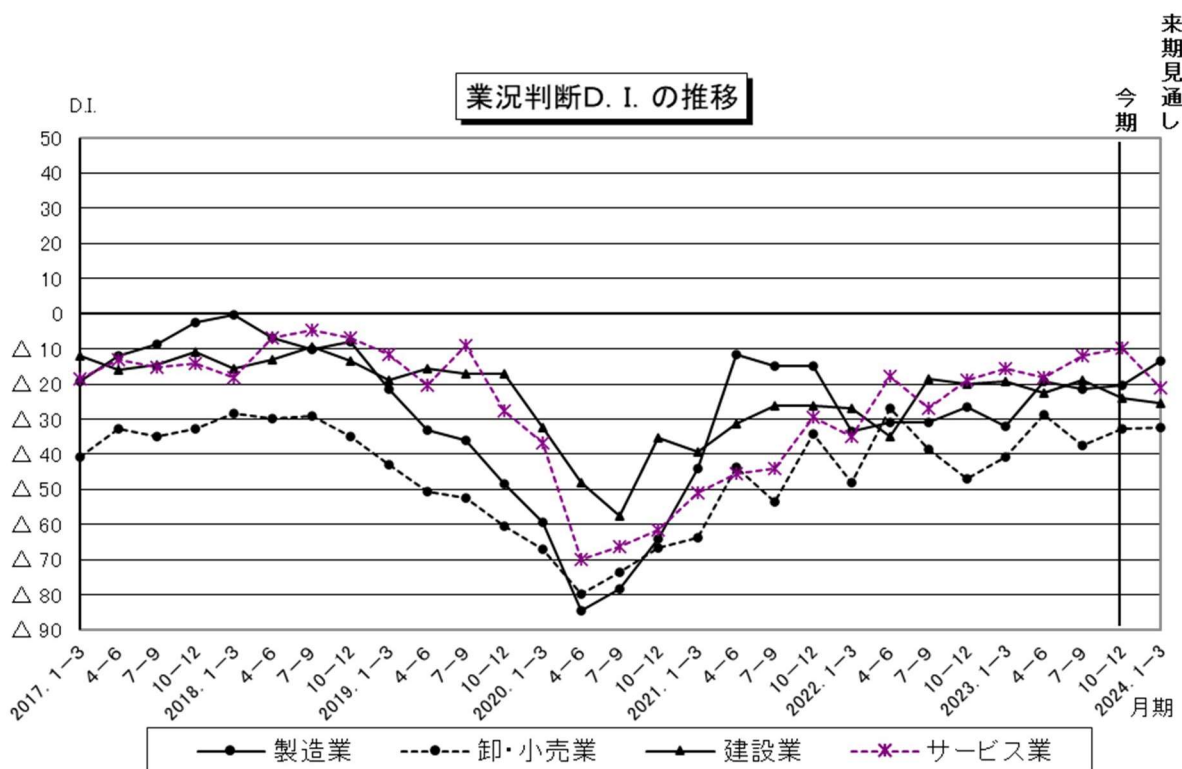
# 今期（2023年10月～12月期）の実績

## 1 業況判断D. I.

業種	2022. 10-12	2023. 1-3	2023. 4-6	2023. 7-9	2023. 10-12(今期)	2024. 1-3(来期)
全産業	△ 29.7	△ 31.6	△ 21.5	△ 24.2	↗ △ 22.4	↗ △ 19.4
製造業	△ 26.5	△ 32.0	△ 19.4	△ 21.6	↗ △ 20.5	↗ △ 13.6
食料品	△ 7.2	△ 15.5	18.8	8.6	↗ 12.7	↘ △ 1.6
繊維工業	△ 17.3	△ 20.6	2.9	△ 19.4	↘ △ 32.0	↗ △ 24.0
木材・木製品	△ 47.4	△ 34.9	△ 47.7	△ 47.8	↗ △ 28.9	↗ △ 24.4
家具・装備品	△ 18.8	△ 44.4	△ 29.4	△ 37.5	↗ △ 35.7	↗ △ 14.3
紙・加工品	△ 34.4	△ 35.1	△ 36.1	△ 50.0	↗ △ 14.3	→ △ 14.3
印刷	△ 29.0	△ 32.3	△ 33.3	△ 12.0	↘ △ 60.0	↗ △ 40.0
化学・ゴム	△ 15.8	△ 35.0	△ 21.1	△ 10.7	↗ △ 10.2	↗ 10.3
窯業・土石	△ 41.4	△ 39.6	△ 40.0	△ 54.7	↗ △ 44.2	↗ △ 21.2
鉄鋼・非鉄	△ 46.2	△ 42.9	△ 36.2	△ 32.3	↗ △ 31.6	↗ △ 28.9
金属製品	△ 23.6	△ 36.4	△ 28.7	△ 36.9	↗ △ 27.2	↗ △ 7.2
一般・精密機器	△ 16.4	△ 13.8	△ 20.6	△ 5.7	↘ △ 33.3	↗ △ 13.7
電気機器	△ 37.5	△ 39.5	△ 34.4	△ 30.0	↘ △ 31.4	↘ △ 42.9
輸送機器	△ 33.3	△ 37.8	4.3	16.7	↗ 17.1	↘ △ 1.2
卸・小売業	△ 46.9	△ 40.7	△ 28.8	△ 37.5	↗ △ 32.8	↗ △ 32.4
卸売業	△ 39.7	△ 37.5	△ 23.4	△ 37.5	↗ △ 30.3	↗ △ 25.8
小売業	△ 56.9	△ 46.1	△ 39.3	△ 37.6	↗ △ 36.5	↘ △ 42.3
建設業	△ 20.0	△ 19.4	△ 22.7	△ 18.8	↘ △ 23.9	↘ △ 25.4
建築業	△ 16.7	△ 20.5	△ 27.9	△ 20.0	↘ △ 20.8	↘ △ 22.9
土木業	△ 25.0	△ 17.4	△ 13.0	△ 16.7	↘ △ 30.4	→ △ 30.4
サービス業	△ 19.0	△ 15.6	△ 18.2	△ 12.1	↗ △ 9.6	↘ △ 21.1
物品賃貸業	△ 21.7	△ 25.6	△ 17.8	△ 11.4	↗ △ 2.3	↘ △ 16.3
情報サービス業	△ 22.0	△ 8.3	△ 15.3	△ 19.1	↗ △ 16.7	↘ △ 29.6
広告業	△ 4.8	△ 15.8	△ 29.4	6.3	↘ △ 5.6	↘ △ 5.9

※ 業況判断D.I.は、前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

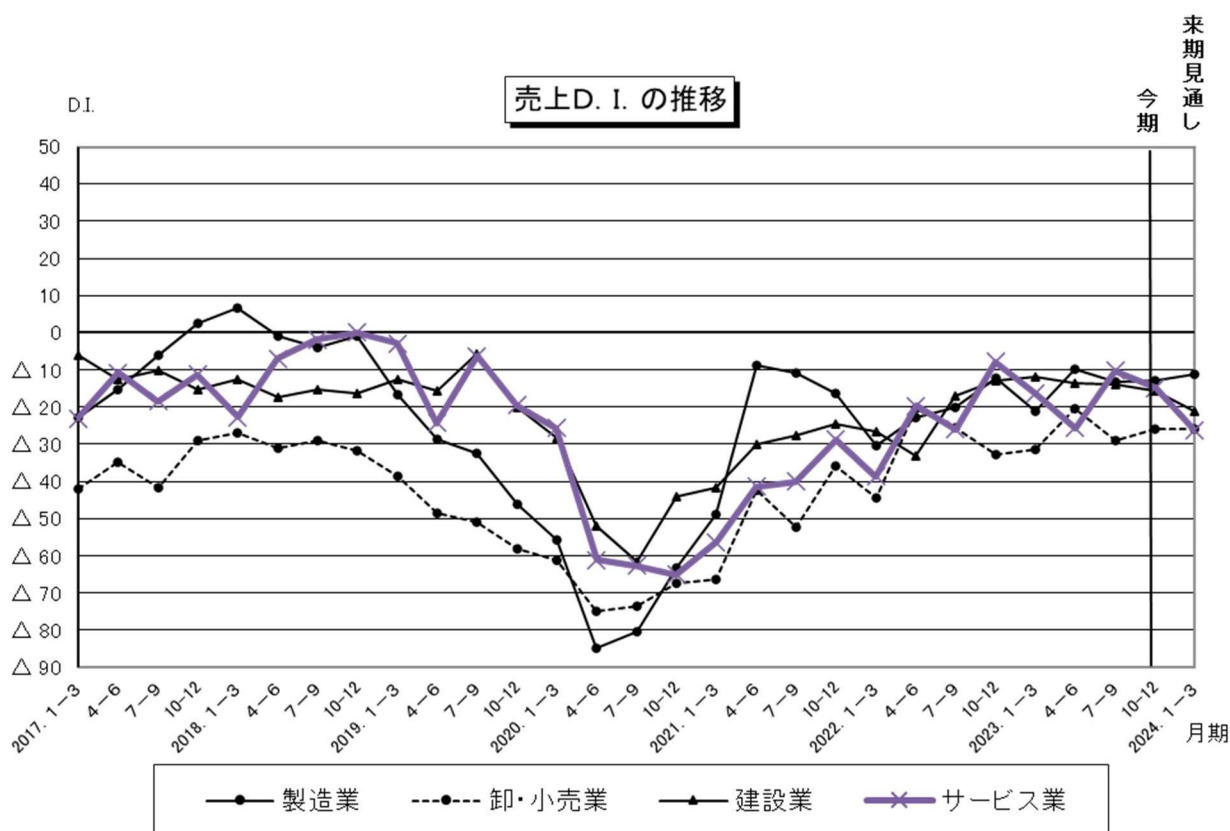


## 2 売上D. I.

業種	2022. 10-12	2023. 1-3	2023. 4-6	2023. 7-9	2023. 10-12(今期)	2024. 1-3(来期)
全産業	△ 16.1	△ 22.3	△ 13.8	△ 16.5	↗ △ 16.1	↘ △ 16.7
製造業	△ 12.2	△ 21.0	△ 9.7	△ 13.3	↗ △ 12.8	↗ △ 11.3
食料品	15.9	14.1	40.0	39.7	↘ 27.0	↘ 11.1
繊維工業	△ 12.3	△ 14.7	5.7	△ 22.6	↘ △ 24.0	↗ △ 22.7
木材・木製品	△ 39.5	△ 30.2	△ 40.9	△ 50.0	↗ △ 44.4	↗ △ 31.1
家具・装備品	12.5	△ 27.8	△ 35.3	△ 31.3	↗ △ 28.6	↗ △ 14.3
紙・加工品	△ 6.3	△ 24.3	△ 22.2	△ 28.1	↗ 17.1	↘ 0.0
印刷	△ 6.5	△ 29.0	△ 19.4	△ 8.0	↘ △ 60.0	↗ △ 32.0
化学・ゴム	△ 5.3	△ 23.3	△ 5.3	0.0	↘ △ 1.7	↗ 10.3
窯業・土石	△ 29.3	△ 26.4	△ 35.0	△ 43.4	↗ △ 27.5	↗ △ 21.2
鉄鋼・非鉄	△ 35.9	△ 19.0	△ 19.6	△ 16.1	↘ △ 23.7	↘ △ 39.5
金属製品	△ 11.5	△ 26.0	△ 22.1	△ 25.5	↗ △ 22.4	↗ △ 8.8
一般・精密機器	△ 11.5	△ 5.1	△ 23.8	△ 21.1	↘ △ 29.4	↗ △ 7.8
電気機器	△ 15.0	△ 39.5	△ 21.9	△ 20.0	→ △ 20.0	↘ △ 40.0
輸送機器	△ 14.0	△ 32.6	19.6	28.2	↘ 23.2	↘ 4.9
卸・小売業	△ 32.7	△ 31.4	△ 20.4	△ 28.9	↗ △ 25.9	→ △ 25.9
卸売業	△ 19.2	△ 25.0	△ 12.3	△ 27.1	↗ △ 22.6	↗ △ 19.4
小売業	△ 51.4	△ 41.7	△ 36.0	△ 31.2	↗ △ 30.8	↘ △ 35.6
建設業	△ 12.9	△ 11.9	△ 13.6	△ 14.1	↘ △ 15.5	↘ △ 21.1
建築業	△ 7.1	△ 13.6	△ 18.6	△ 7.5	↘ △ 8.3	↘ △ 18.8
土木業	△ 21.4	△ 8.7	△ 4.3	△ 25.0	↘ △ 30.4	↗ △ 26.1
サービス業	△ 7.9	△ 16.4	△ 25.6	△ 10.2	↘ △ 14.8	↘ △ 26.3
物品賃借業	0.0	△ 25.6	△ 24.4	△ 13.6	↗ △ 11.6	↘ △ 27.9
情報サービス業	△ 15.3	△ 8.3	△ 23.7	△ 12.8	↘ △ 20.4	↘ △ 29.6
広告業	△ 4.5	△ 21.1	△ 35.3	5.9	↘ △ 5.6	↘ △ 11.8

※ 売上 D.I.は、前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業割合から「減少」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

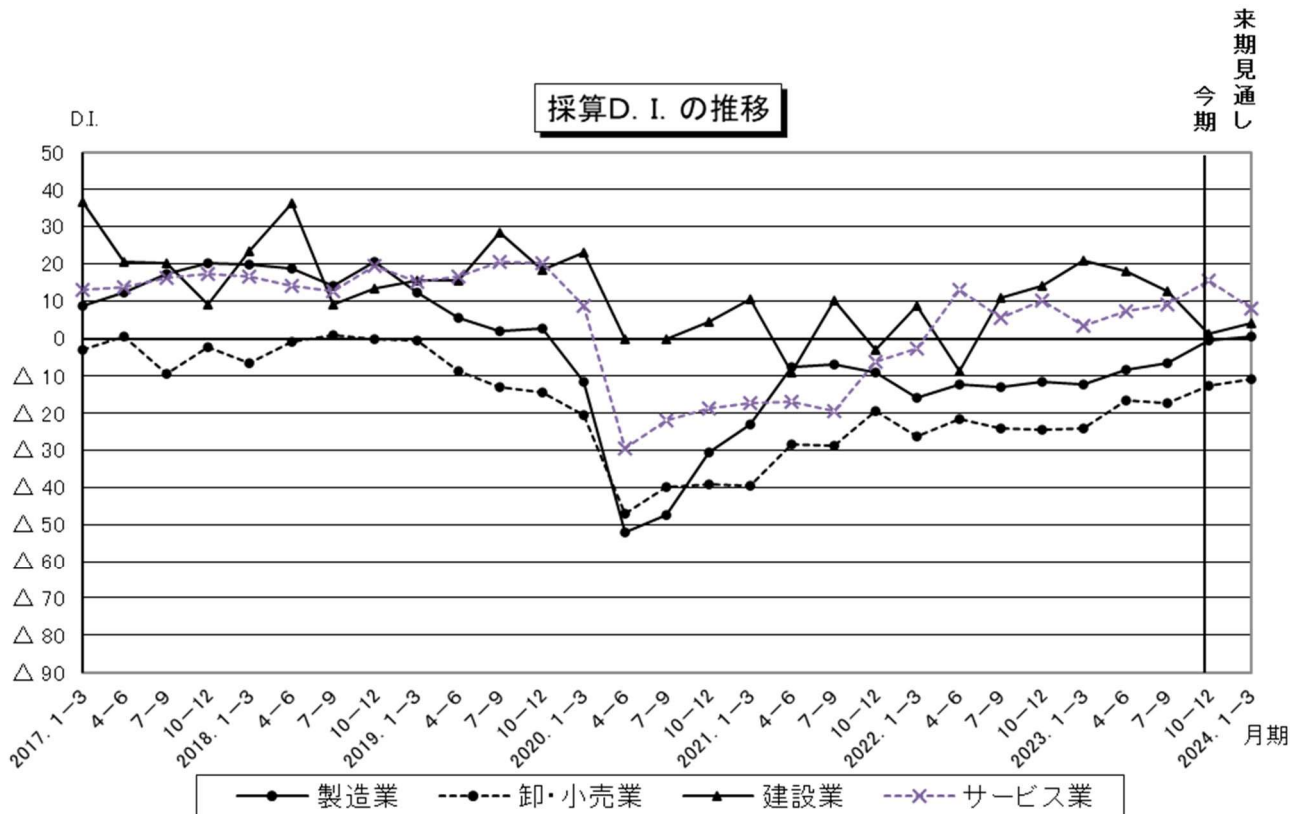


### 3 採算D. I.

業種	2022. 10-12	2023. 1-3	2023. 4-6	2023. 7-9	2023. 10-12(今期)	2024. 1-3(来期)
全産業	△ 10.6	△ 11.6	△ 7.2	△ 6.5	↗ △ 1.7	↗ △ 1.1
製造業	△ 11.5	△ 12.4	△ 8.5	△ 6.7	↗ △ 0.7	↗ 0.6
食料品	△ 15.9	△ 11.3	4.3	5.2	↗ 19.0	↘ 6.3
繊維工業	△ 25.9	△ 19.1	△ 11.4	△ 14.5	↘ △ 28.0	↗ △ 25.3
木材・木製品	△ 28.9	△ 14.0	△ 29.5	△ 24.4	↗ △ 20.5	↗ △ 8.9
家具・装備品	△ 6.3	△ 16.7	△ 35.3	△ 25.0	↗ △ 21.4	↗ 7.1
紙・加工品	△ 12.5	△ 24.3	△ 16.7	△ 9.1	↗ 11.4	↘ △ 14.3
印刷	△ 22.6	△ 9.7	△ 19.4	△ 28.0	↗ △ 24.0	↗ △ 12.0
化学・ゴム	8.8	6.7	26.8	21.4	↗ 22.0	↗ 36.2
窯業・土石	△ 22.4	△ 27.8	△ 16.7	△ 20.8	↗ △ 11.5	↗ △ 5.8
鉄鋼・非鉄	△ 15.4	2.4	△ 6.4	△ 3.2	↘ △ 7.9	→ △ 7.9
金属製品	△ 8.8	△ 11.7	△ 17.0	△ 17.0	↗ △ 7.3	↗ 1.6
一般・精密機器	3.3	△ 5.2	△ 7.9	0.0	↗ 9.8	↗ 11.8
電気機器	2.5	△ 7.0	△ 12.5	△ 16.7	↗ △ 8.6	↘ △ 11.4
輸送機器	△ 9.7	△ 21.6	2.2	16.7	↗ 25.6	↘ 13.4
卸・小売業	△ 24.6	△ 24.0	△ 16.5	△ 17.4	↗ △ 12.7	↗ △ 10.9
卸売業	△ 9.3	△ 12.5	△ 4.1	△ 4.9	↗ 6.5	↘ 4.5
小売業	△ 45.9	△ 42.7	△ 40.4	△ 33.9	↘ △ 41.3	↗ △ 33.7
建設業	14.3	20.9	18.2	12.7	↘ 1.4	↗ 4.2
建築業	4.8	11.4	11.6	7.7	↗ 10.4	↘ 6.3
土木業	28.6	39.1	30.4	20.8	↘ △ 17.4	↗ 0.0
サービス業	10.2	3.3	7.4	9.3	↗ 15.7	↘ 7.9
物品賃貸業	28.3	14.0	26.7	25.0	↗ 34.9	↘ 25.6
情報サービス業	△ 3.4	0.0	△ 3.4	△ 4.3	↗ 1.9	↘ △ 11.1
広告業	9.1	△ 10.5	△ 5.9	5.9	↗ 11.1	↗ 23.5

※ 採算D.I.は、当期採算が「黒字」とする企業割合から「赤字」とする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

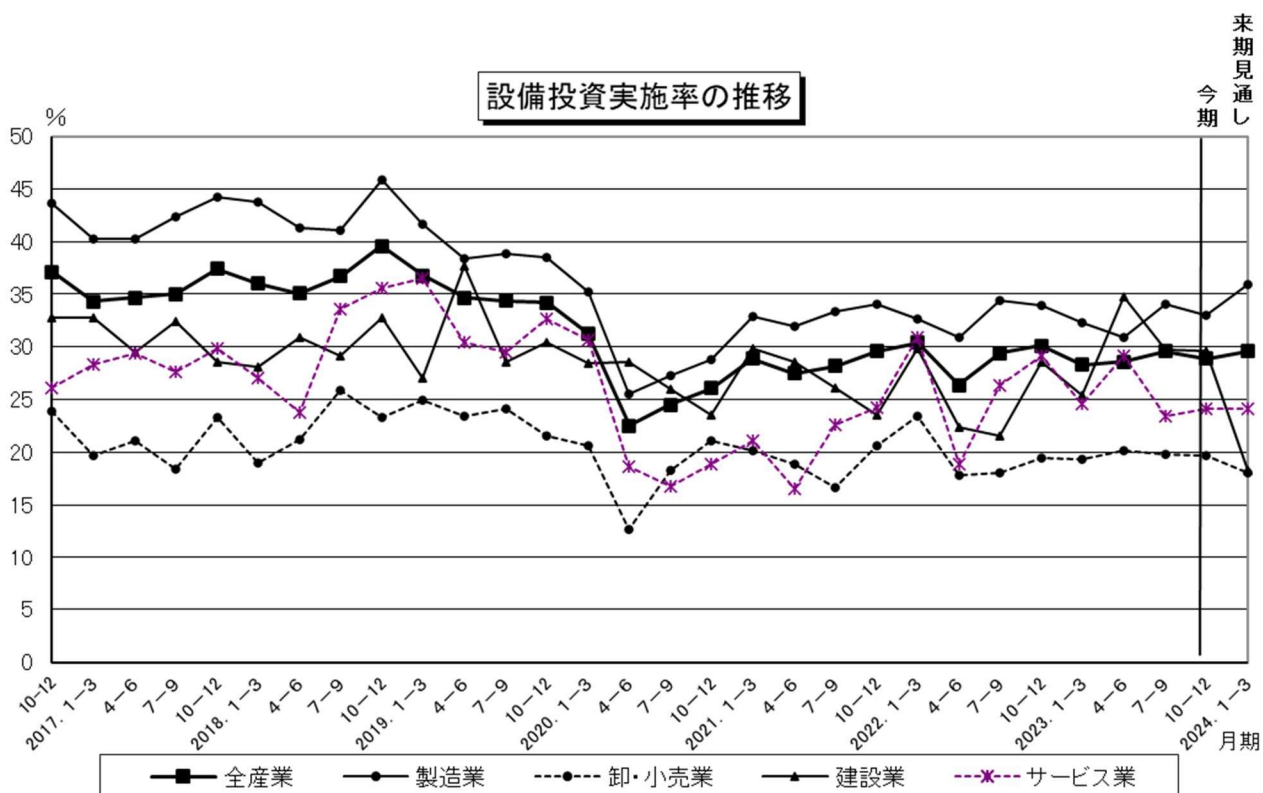


#### 4 設備投資実施率

業種	2022. 10-12	2023. 1-3	2023. 4-6	2023. 7-9	2023. 10-12(今期)	2024. 1-3(来期)
全産業	30.0	28.3	28.6	29.6	↘	↗ 29.6
製造業	33.9	32.3	30.9	34.1	↘	↗ 35.9
食料品	39.1	47.1	41.4	43.9	↘	↗ 44.4
繊維工業	14.8	17.9	20.3	19.4	↗	↗ 29.3
木材・木製品	10.5	14.0	11.4	13.0	↗	↗ 24.4
家具・装備品	37.5	16.7	11.8	20.0	↗	↘ 35.7
紙・加工品	34.4	29.7	33.3	45.5	↘	↗ 34.3
印刷	40.0	22.6	22.6	24.0	↘	↗ 24.0
化学・ゴム	42.1	48.3	39.3	41.1	↗	↗ 46.6
窯業・土石	32.8	33.3	33.3	37.7	↘	→ 32.7
鉄鋼・非鉄	38.5	23.8	17.0	29.0	↘	↗ 31.6
金属製品	35.1	34.0	31.6	31.4	↗	↗ 33.9
一般・精密機器	24.6	30.5	31.7	38.0	↘	↗ 31.4
電気機器	27.5	23.3	34.4	26.7	↗	↗ 38.2
輸送機器	54.3	43.2	43.5	51.3	↗	↘ 47.6
卸・小売業	19.5	19.3	20.1	19.8	↘	↘ 18.1
卸売業	20.0	19.2	19.4	16.1	↗	↘ 17.4
小売業	18.7	19.4	21.3	24.8	↘	↘ 19.2
建設業	28.6	25.4	34.8	29.7	↘	↘ 18.3
建築業	21.4	20.5	30.2	25.0	↘	↘ 12.5
土木業	39.3	34.8	43.5	37.5	↗	↘ 30.4
サービス業	29.1	24.6	29.2	23.4	↗	→ 24.1
物品賃貸業	34.8	27.9	35.6	25.6	↗	↘ 27.9
情報サービス業	28.8	30.0	25.4	27.7	↘	↗ 25.5
広告業	18.2	0.0	25.0	5.9	↗	→ 11.1

※ 設備投資実施率は、当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。なお、来期については、設備投資計画が「ある」とする企業の割合。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

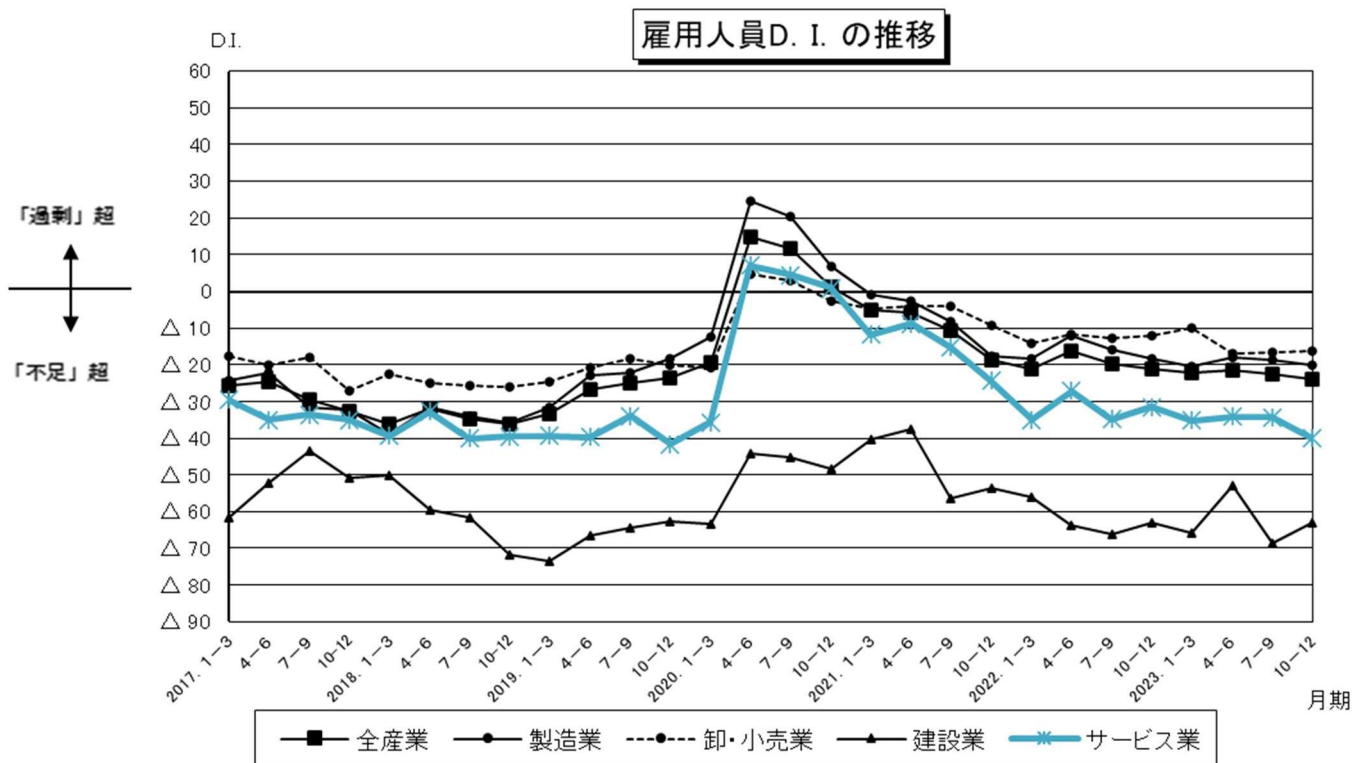


## 5 資金繰りD. I.

資金繰り D. I. 「好転」-「悪化」	業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)	2024年1-3月期 (来期)
	全産業	△ 24.8	△ 25.7	△ 17.7	△ 20.3	△ 17.8	△ 17.7
	製造業	△ 24.4	△ 26.8	△ 15.9	△ 17.4	△ 14.9	△ 15.0
	卸・小売業	△ 35.4	△ 29.9	△ 29.0	△ 33.7	△ 30.1	△ 24.4
	建設業	△ 11.4	△ 13.4	△ 6.1	△ 15.6	△ 14.1	△ 21.1
	サービス業	△ 12.6	△ 15.7	△ 11.6	△ 10.2	△ 10.4	△ 16.7

## 6 雇用人員D. I.

雇用人員 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)
	全産業	△ 21.0	△ 22.1	△ 21.4	△ 22.6	△ 23.8
	製造業	△ 18.4	△ 20.4	△ 18.1	△ 18.7	△ 20.1
	卸・小売業	△ 12.0	△ 10.0	△ 17.1	△ 16.6	△ 16.2
	建設業	△ 62.9	△ 65.7	△ 53.0	△ 68.8	△ 62.9
	サービス業	△ 31.5	△ 35.2	△ 34.2	△ 34.3	△ 40.0



## 7 金融機関の貸出態度D. I.

貸出態度 D. I. 「緩い」-「厳しい」	業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)
	全産業	6.3	2.8	2.5	3.7	4.5
	製造業	6.1	3.8	3.6	4.1	5.3
	卸・小売業	0.4	△ 3.6	△ 2.4	0.4	△ 0.8
	建設業	18.8	13.8	4.6	11.3	2.8
	サービス業	12.1	4.5	5.5	4.1	12.5

## 8 価格の動向

### (1) 販売価格D. I.

販売価格 D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)
	製造業	33.0	30.2	34.8	30.2	29.4
	卸・小売業	42.3	44.8	49.2	40.7	46.1
	サービス業	△ 7.1	△ 15.7	△ 3.3	6.5	△ 6.2

### (2) 仕入価格等D. I.

仕入価格等 「上昇」-「低下」	業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)
主要原材料 価格D. I.	製造業	89.5	88.4	82.5	79.0	78.9
仕入価格 D. I.	卸・小売業	83.4	84.4	85.3	85.0	81.5
主要資材 価格D. I.	建設業	90.0	92.4	86.2	81.3	74.6

## 9 設備稼働状況D. I.

設備稼働 状況D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)
	製造業	△ 17.6	△ 24.2	△ 20.2	△ 22.0	△ 16.9



## 10 顧客（受注先）数D. I.

顧客数 D. I. 「増加」-「減少」	業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)
	サービス業		△ 11.0	△ 19.2	△ 24.2	△ 17.8

## 11 在庫水準D. I.

在庫水準 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2022年10-12月期	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期 (今期)
	製造業		3.9	9.6	6.0	9.9
卸・小売業		9.7	9.6	17.0	11.9	17.1

## 12 経営上の問題点

<調査方法>以下の項目から、2つまで選択。

### 【製造業】

- ・売上の不振
- ・原材料高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・製品安・値下げの要請
- ・エネルギー費用の増加
- ・その他

### 【卸・小売業】

- ・売上の不振
- ・仕入価格の上昇
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・大型店・新業態の小売店進出
- ・店舗の狭小老朽化
- ・その他

### 【建設業】

- ・受注の不振
- ・資材高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・その他

### 【サービス業】

- ・売上の不振
- ・外注コスト増
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・新規参入増
- ・その他

業種	順位	2023年4-6月期(前々期)		2023年7-9月期(前期)		2023年10-12月期(今期)	
製造業	1位	<b>原材料高</b>	<b>62.6%</b>	<b>原材料高</b>	<b>55.3%</b>	<b>原材料高</b>	<b>55.6%</b>
	2位	売上の不振	40.7%	売上の不振	41.5%	売上の不振	42.6%
	3位	エネルギー費用の増加	39.3%	エネルギー費用の増加	36.2%	人件費の増加	26.8%
卸・小売業	1位	<b>仕入価格の上昇</b>	<b>60.1%</b>	<b>仕入価格の上昇</b>	<b>58.2%</b>	<b>仕入価格の上昇</b>	<b>52.2%</b>
	2位	売上の不振	51.2%	売上の不振	55.4%	売上の不振	50.6%
	3位	人件費の増加	26.0%	人件費の増加	26.1%	人件費の増加	27.5%
建設業	1位	<b>資材高</b>	<b>62.1%</b>	<b>資材高</b>	<b>67.2%</b>	<b>資材高</b>	<b>69.0%</b>
	2位	人手不足	50.0%	人手不足	50.0%	人手不足	49.3%
	3位	受注の不振	40.9%	受注の不振	29.7%	人件費の増加	31.0%
サービス業	1位	<b>売上の不振</b>	<b>46.1%</b>	<b>売上の不振</b>	<b>39.2%</b>	<b>売上の不振</b>	<b>42.3%</b>
	2位	人手不足	33.9%	人件費の増加	33.3%	人手不足	33.3%
	3位	人件費の増加	33.0%	人手不足	30.4%	外注コスト増	32.4%

### 13 行政が今後強化すべき支援策

<調査方法> 以下の項目から、3つまで選択。

- ・金融支援
- ・経営指導・相談
- ・技術開発・指導
- ・下請適正取引の推進
- ・省エネ支援
- ・雇用維持支援
- ・人材確保支援
- ・人材育成支援
- ・その他

業種	順位	2023年4-6月期(前々期)		2023年7-9月期(前期)		2023年10-12月期(今期)	
全産業	1位	金融支援	41.6%	金融支援	41.8%	金融支援	42.2%
	2位	人材確保支援	40.1%	雇用維持支援	39.3%	人材確保支援	41.5%
	3位	雇用維持支援	39.0%	人材確保支援	38.5%	雇用維持支援	41.0%
製造業	1位	金融支援	40.5%	金融支援	39.8%	人材確保支援	42.1%
	2位	人材確保支援	40.2%	人材確保支援	39.1%	雇用維持支援	40.9%
	3位	省エネ支援	39.4%	省エネ支援	38.5%	金融支援	40.3%
卸・小売業	1位	金融支援	51.2%	金融支援	52.3%	金融支援	53.1%
	2位	雇用維持支援	39.8%	雇用維持支援	41.4%	雇用維持支援	39.1%
	3位	人材確保支援	31.7%	省エネ支援	29.1%	人材確保支援	32.1%
建設業	1位	人材確保支援	60.0%	人材確保支援	65.1%	人材確保支援	59.2%
	2位	雇用維持支援	46.2%	金融支援 雇用維持支援	39.7%	雇用維持支援	49.3%
	3位	人材育成支援	36.9%	人材育成支援	38.1%	人材育成支援	46.5%
サービス業	1位	人材確保支援 雇用維持支援	46.5%	雇用維持支援	44.6%	人材確保支援	47.2%
	2位	人材育成支援	37.7%	人材確保支援	43.6%	雇用維持支援	40.7%
	3位	金融支援	36.0%	人材育成支援	38.6%	金融支援	36.1%

## 【トピックス調査】

### <エネルギー・原材料価格高騰の影響>

#### 1 利益への影響

業種	利益への影響						
	減少	50%以上	30%以上	10%以上	10%未満	影響はない	分からない
全産業	77.7% (80.7%)	4.8% (6.3%)	17.2% (18.1%)	31.7% (33.9%)	24.0% (22.4%)	10.5% (7.7%)	11.8% (11.6%)
製造業	84.0% (85.3%)	6.4% (6.9%)	19.0% (20.9%)	35.1% (36.1%)	23.5% (21.4%)	7.1% (5.0%)	8.9% (9.7%)
卸・小売業	72.1% (78.1%)	3.3% (7.1%)	13.9% (18.3%)	27.0% (31.1%)	27.9% (21.6%)	12.7% (9.1%)	15.2% (12.8%)
建設業	73.4% (76.2%)	2.9% (4.8%)	17.6% (11.1%)	33.8% (33.3%)	19.1% (27.0%)	7.4% (4.8%)	19.2% (19.0%)
サービス業	55.3% (61.4%)	0.0% (1.9%)	13.4% (3.8%)	20.5% (26.9%)	21.4% (28.8%)	27.7% (24.0%)	17.0% (14.6%)

※カッコ内は前回調査（2023年7月～9月期）

#### 2 価格転嫁の状況

業種	価格転嫁の状況					
	全くできていない (2割未満)	2割以上5割未満	5割以上8割未満	8割以上	分からない	価格転嫁の 必要がない
全産業	22.6% (25.6%)	27.8% (26.4%)	19.0% (20.5%)	15.8% (13.6%)	10.0% (8.9%)	4.8% (5.0%)
製造業	18.4% (22.4%)	31.3% (30.5%)	22.7% (23.3%)	16.1% (13.5%)	8.2% (8.1%)	3.3% (2.2%)
卸・小売業	23.9% (28.5%)	26.3% (21.9%)	16.0% (19.0%)	20.6% (18.6%)	11.6% (6.2%)	1.6% (5.8%)
建設業	25.0% (21.0%)	22.1% (21.0%)	16.2% (17.7%)	17.6% (12.9%)	19.1% (20.9%)	0% (6.5%)
サービス業	44.1% (43.1%)	13.5% (12.7%)	4.5% (6.9%)	2.7% (2.9%)	11.8% (13.8%)	23.4% (20.6%)

※カッコ内は前回調査（2023年7月～9月期）

## <デジタル化・DXの取組>

### 1 デジタル化・DXの取組状況

業種	デジタル化・DXの取組状況				
	未着手	紙文書を電子データ化している	個別業務プロセスをデジタル化している	全社的に業務プロセスをデジタル化し、事業の革新を実現している	分からない
全産業	36.3%	27.6%	19.1%	5.0%	12.0%
製造業	35.8%	28.8%	20.5%	4.2%	10.7%
卸・小売業	44.0%	22.6%	14.8%	6.2%	12.4%
建設業	29.0%	30.4%	17.4%	7.2%	16.0%
サービス業	27.0%	29.7%	21.6%	5.4%	16.3%

### 2 デジタル化・DXに取組む際の課題

業種	順位	デジタル化・DXに取組む際の課題	
全産業	1位	人材の育成や採用が難しい	24.3%
	2位	セキュリティ対策	19.2%
	3位	資金が不足している	16.3%
製造業	1位	人材の育成や採用が難しい	25.2%
	2位	セキュリティ対策	19.8%
	3位	必要性や利点が分からない	15.8%
卸・小売業	1位	人材の育成や採用が難しい	20.5%
	2位	必要性や利点が分からない	18.7%
	3位	資金が不足している	17.9%
建設業	1位	人材の育成や採用が難しい	31.0%
	2位	進め方が分からない セキュリティ対策	17.5%
	3位	資金が不足している	15.1%
サービス業	1位	人材の育成や採用が難しい	23.0%
	2位	セキュリティ対策	21.9%
	3位	資金が不足している	17.6%

<調査方法> 以下の項目から、5つまで選択。

- ・必要性や利点が分からない
- ・人材の育成や採用が難しい
- ・課題はない
- ・進め方が分からない
- ・セキュリティ対策
- ・資金が不足している
- ・検討したことがない

## <テレワークの導入意向>

### 1 テレワークの導入状況

業種	テレワークの導入状況					
	今回調査			前回(2022年10-12月期)調査		
	既に導入済み	今後、導入したい	導入の予定なし	既に導入済み	今後、導入したい	導入の予定なし
全産業	21.4%	4.5%	74.1%	18.1%	8.8%	73.1%
製造業	18.6%	4.2%	77.2%	15.9%	7.7%	76.5%
卸・小売業	21.7%	3.7%	74.6%	12.9%	10.4%	76.8%
建設業	11.8%	10.3%	77.9%	11.8%	16.2%	72.1%
サービス業	43.6%	4.5%	51.9%	46.2%	8.4%	45.4%

### 2 テレワークの導入予定がない場合、その理由

業種	順位	テレワークの導入について、「予定なし」と回答した理由	
全産業	1位	対象業務が限定的	46.6%
	2位	適正な労務管理	16.8%
	3位	導入効果	13.2%
製造業	1位	対象業務が限定的	49.6%
	2位	適正な労務管理	15.8%
	3位	情報セキュリティの確保	12.3%
卸・小売業	1位	対象業務が限定的	46.2%
	2位	導入効果	21.0%
	3位	社員間のコミュニケーション 適正な労務管理	17.5%
建設業	1位	対象業務が限定的	39.6%
	2位	適正な労務管理	22.9%
	3位	導入効果	16.7%
サービス業	1位	対象業務が限定的	29.2%
	2位	テレワークに対応した社内制度作り	20.0%
	3位	適正な労務管理	18.5%

<調査方法> 以下の項目から、3つまで選択。

- ・情報セキュリティの確保
- ・適正な人事評価
- ・導入効果
- ・社員間のコミュニケーション
- ・対象業務が限定的
- ・導入・運用コスト
- ・適正な労務管理
- ・テレワークに対応した社内制度作り
- ・その他

## 〔調査の概要〕

- 1 調査時期 2023年12月1日から12月10日まで  
 2 調査対象期間 実績 ----- 2023年10～12月期  
 見通し ----- 2024年1～3月期

### 3 調査内容

- 業況判断、売上、資金繰り、販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況、顧客数及び在庫水準については、前年同期との比較。  
 ○採算、設備投資、雇用人員及び金融機関の貸出態度については、当期の実績。

### 4 指数化の方法

D. I. : 業況判断指数 (ディフュージョン・インデックス)

- 業況判断D. I. ----- 前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。  
 売上D. I. ----- 前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。  
 採算D. I. ----- 当期採算が「黒字」とする企業の割合から、「赤字」とする企業の割合を差し引いた値。  
 設備投資実施率 ----- 当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。  
 資金繰りD. I. ----- 前年同期と比べて資金繰りが「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。  
 雇用人員D. I. ----- 当期において雇用人員が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。  
 金融機関の貸出態度D. I. -- 当期において金融機関の貸出態度が「緩い」とする企業の割合から、「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値。

- 販売価格D. I. -----  
 主要原材料価格D. I. -----  
 仕入価格D. I. -----  
 主要資材価格D. I. -----  
 設備の稼動状況D. I. -----  
 顧客数D. I. ----- 前年同期と比べて顧客数が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。  
 在庫水準D. I. ----- 前年同期と比べて在庫水準が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

- (注) ・各指数の表示の合計は、端数により100%とならない場合がある。  
 ・業種によっては、サンプル数が少ないことから、結果に偏りが生じる可能性があることに留意する必要あり。

### 5 対象企業

以下の基準に該当する愛知県に本社を置く企業から無作為抽出。

- 製造業・建設業 -- 資本金3億円以下又は従業員300人以下  
 卸売業 ----- 資本金1億円以下又は従業員100人以下  
 小売業 ----- 資本金5千万円以下又は従業員50人以下  
 サービス業 ----- 資本金5千万円以下又は従業員100人以下

### 6 調査回答状況

区分	全産業	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業
標本企業数	2,000社	1,230社	470社	100社	200社
回答企業数	1,168社	708社	272社	72社	116社
回答率	58.4%	57.6%	57.9%	72.0%	58.0%
(前回)	57.3%	57.8%	55.7%	64.0%	54.5%

本資料は、産業政策課のWebページ(<https://www.pref.aichi.jp/sangyo-seisaku/keikyo/top.htm>)で御覧いただけます。